

# 学生新聞

放送大学  
埼玉学習センター  
埼玉CSC交流会  
学生新聞  
編集委員会  
〒330-0853  
さいたま市大宮区  
錦町682-2  
TEL.048-650-2611

## 埼玉SCCでの無線LAN利用 「利用申請書」の提出で可能に 接続に必要なIDとパスワード交付

インターネットに接続されたパソコンなどを使って受講する「オンライン授業」を経験した学生が増えている。オンライン授業は、自宅や職場などにインターネット環境があれば、場所や時間に関わりなく学ぶことが可能になる。

では、学習センターの端末室や実習室で十分な学習ができるのだろうか。原則として、オンライン授業を受講するためには、自分でパソコンなどを用意しなければならない。そのためインターネット環境は今まで、学習センターでは難しかった。もし、学習センターでインターネット環境を手に入れようと思えば、スマートフォンなどのデザリング

を利用して、ネット接続をする必要があった。しかし、2017年の「放送大学新時代」と銘打った放送大学のビジョンでは、来生学長による「アクションプラン」10項目のうち、8番目に「学習センターの機能強化」を掲げ、「学習センターにおけるWi-Fi整備等により、学生のインターネット利用環境の改善と利用技術の教育に積極的に取り組まします」として、学習センターのWi-Fi環境の整備が進められている。その甲斐あって、埼玉学習センターにおける無線LANも、昨年から改善されていることを、学生諸氏は感じているのか。9階のロビーなどでは、時に自分のノートパソコン

を持ち込み、学習をしている学生を見かけることはあるが、その数はまだ多くはない。

また、無線LANを利用したいと考えても、誰でも直ぐに利用できるわけではない。それでは、埼玉学習センターで無線LAN接続を利用するためには、どのような手続きが必要なのか。

第一に、無線LANの利用を希望する場合は、事務室の窓口で「無線LAN利用申請書」の提出が求められる。注意しなければならないのは、無線LANの利用は、あくまでも「学習目的」であるという事だ。自分のパソコンだからと、学内で自由にネット上でゲームをしたり、買い物をしたりすることは御法度である。

無線LANの利用は、利用機器の状況として、①メーカー名、②型番、③OS・バージョン、④



前まで！)、選りすぐりの本を読み、カントについて対話し、こうやって原稿を書いていきたいものだ、という思いである。放送大学の学生の皆さまも、いな、放送大学の学生の皆さまだからこそ、同様に思っているらっしゃると確信している。

4年前の2015年4月に所長に就任したお、最初の（入学者の集い）でギリシアの哲学者アリストテレスの言葉をご紹介します。曰く、「人間はみな生まれながらにして、知ること、愛すること、遊ぶこと、を欲する」と（『形而上学』第一巻冒頭）。これこそ生涯学習の宣言の金言である。「知ること」を「学ぶこと」と言い換えてもいい。すると何と、放送大学の校歌の歌詞に化けるのである。すなわち、「生きることは学ぶこと／学ぶのは楽しみ」（作詞・那珂太郎）。

皆さま、生涯の文字通り「涯（はて）」まで、学びの道を楽しみつくしましょう。（これを「学道楽」という。）

## 生涯学習の理想形態とは？

埼玉学習センター所長 渋谷治美

私の恩師の恩師は、傘寿をこえた頃、机に向かって原稿を執筆しながら亡くなった。私の恩師はその亡くなり方を、まだ20歳代の私たち学生、院生を前にして、学者の鑑と賛嘆したうえで、自分もあのように死にたいものだ、と大らかに仰った。その恩師その後、傘寿を迎える少し前に、研究

えていったことにも触れました。近代に入って、ワーグナーとベルディの比較を通して、交わることのなかった2人の個性を解き明かしました。そして、最後には、音楽の定義を壊したラベルの作曲した「ボレロ」を人間の持つ心の高まりを意図的に揺り動かす作品として解説したのです。

## 視聴者参加型の公開講演会 「歌い手の四方山話」 野畑昭徳

2月10日(日)開催の福井先生のお話は楽しく、時には私たち聴く者も演じる者になる参加型の講演会でした。その内容は音楽と人類の歴史を基にした多岐に亘るものでした。人類の音楽の始まりについて諸説を取り上げ、初期の音楽はこんな形で生まれたのだろうと、参会者に原始人になったつもりで「オオオオ」「アアアア」といった発声を体験させました。古代ギリシャになるとピタゴラスが音楽理論を打ち立てた偉業について解説されました。その後、キリスト教による教会音楽、十字軍による戦争にまつわる音楽から世俗音楽への発展について論じました。「長調」と「短調」の解説では、詞と曲の関連を理解させるために、よく知られた水戸黄門のテーマ曲「ああ人生に涙あり」と童謡の「どんぐりころころ」の曲と詞を入れ替えて歌いました。これにより、参会者の皆さんも「詞と曲がマッチすることが重要なんだ」と改めて気づかされたのではないのでしょうか。バロック音楽、古典派、ロマン派についての解説では、作曲家「ベートーベン」と詩人「シラー」、作曲家「シューマン」と詩人「ハイネ」の関係が新しい音楽を誕生させることにつながったことでした。また、ショパン、リスト、シューマンの3人のパリのサロンでの出会いと友人関係に影響された作風の変遷など、人と人の出会いが当時の音楽を変

私が福井克明先生に初めてお会いしたのは、かれこれ15年前になると思います。公立中学校の教員であった頃、合唱祭の審査員をお願いしたことが始まりです。何年後、やはり合唱祭前に担当の音楽科教員が病気で休職に入り、指導者不在となって、学校はどうにもならない状態に陥っていました。大変申し訳ない気持ちで福井先生に指導を依頼しました。先生は「いいよ」の二つ返事で承諾してくださいました。東日本大震災以後は、総合的な学習の時間で取り組んだ生徒たちの創るオペレッタの作曲と演出をお願いしました。そこで生まれたのが絵本を基にした「ハナミズキのみちのうた」です。この歌を講演会の最後に参会者全員で、絵本の原作者・浅沼ミキ子さんと共に歌う機会を作って頂きました。このことは福井先生が講演の中で貫かれた考えである「人と人との出会いに作品が生まれ、芸術は人の生き様そのものである」ことにつながりました。福井先生は今年の2学期より本学で教鞭をとられると聞いています。福井先生と皆さんのつながりがさらに強いものになり、私たちの学習センターが新たなステージへと向かうと信じております。

一方、事務室からは「放送大学情報セキュリティガイドライン利用者（学生用）」という、学内での情報機器や各種情報を利用する際に守るべき注意事項を列記したガイドライン文書を配布されるので、学内に限らず、情報機器を扱う際の心構えとして、有効に活用できる。

これからの社会生活を営む上で、避けては通れない情報機器との付き合い方を改めて認識し、上手に生活に採り入れてゆきたいものだ。（冬木）

皆さんの周りに放送大学に興味・関心のある方がおりましたら、是非ご紹介ください。

紹介された方が入学（再入学を除く）した場合には、薄謝を進呈いたします。

平成30年度  
学位記授与式と  
卒業・修了  
祝賀パーティー開催

【学位記授与式】  
日時：19年3月23日(土)  
11時～12時  
場所：NHKホール

【卒業・修了祝賀パーティー】  
日時：19年3月23日(土)  
13時半～15時半  
場所：ハイアットトリジェンシー東京  
(新宿区西新宿2-7-1)

2019年春へ向けて  
埼玉CSC交流会代表 嶋崎洋明

つい、1か月前に新年を祝ったばかりですが、間もなく弥生月を迎えようとしています。いつもながら、時の流れの速さに驚くばかりです。

平素は、埼玉CSC交流会の事務運営に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて日本経済は、内閣府が1月13日、第2次安倍内閣が発足した2012年12月に始まった景気拡大が、戦後2番目の長さになったと判断しました。

株高、円安の後押しがあり、企業業績の改善が進みましたが、一方で、賃金は伸び悩み、好況の實感が乏しい景気回復といえます。

先送りされた消費税が10月には税率10%への引き上げになりますが、更なる地方再生の活性化のスピードを上げた政策運営を期待致します。

一方、今年の埼玉学習センターは変革の兆しが感じられます。埼玉学習センター所属の学生団体

CSC交流会の更なる発展に、皆様のご意見を賜り、運営に反映できる所存です。我々の組織体制強化を図って参る所存です。我々の組織は、身の丈を弁えた運営を心掛けて参ります。

4月の新学期には、新たに多くの仲間が参加いただけるよう、各学生団体の更なる募集活動に期待するところです。

2019年春に向けて、会員各位の一層のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。

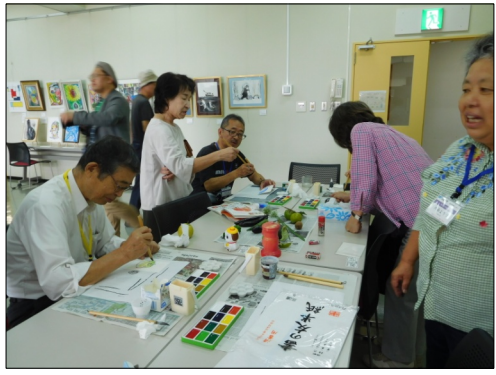
「冬の日の思い出」  
笹原誠二

12月初旬、今年も我が家の庭の白い山茶花に続き、紅い山茶花が今を盛りと咲き始めだ。これからは春に咲き始める。もうすぐ冬の訪れを間近にして、2階の居間に燦爛と冬の日光が降り注いでいる。

8年前のちょうど今頃、私は胸膜炎を患って2月初旬から2か月あまり、この部屋で安静生活を過ごした。原因は肺炎菌によるものであったが、当時は胸が息苦しく息を吸うことさえ難しかった。CSCの役員会を中座して、そのまますぐにかかりつけの医院でレントゲン写真をとると、その足で紹介状を持って専門病院へタクシーで向かった。到着したときは39度以上の高熱で意識ももうろうとしていた。それ以降、2月末まで、月に3度あまり通院して、血液検査と胸のレントゲン写真を撮りながら、毎日薬を飲むという自宅療生活が始まった。

することもなく毎日2階の部屋から庭の花木を窓越しに眺めながら満開の赤と白の山茶花や豊後梅の蕾のふくらむのを楽しんでた。家の前の道を散歩中の夫婦が我が家の庭の花を立ち止まって眺めているのを見ながら「あとののくらしい、この生活が続くのかな」と考えていた。暖かな部屋の隅で、暖かさを求めて、来るときは必ず試験の準備、テキストに時々目を通すが思い通りに頭に入らない状態が続いた。それでも、「まあ、成るよ、うにしか成らないけれど、やってみるか」と気を取り直してテキストを読み返して、その学期の試験の科目の単位を取得できてほっとした。

## 学生手帳



「未来の会」は平成17年3月より黒澤英典先生の面接授業を受けたメンバーが「孤独に学び、孤独に帰る」を打破し、共に学

「未来と出会う『未来の会』の紹介」

代表 嶋崎洋明 / 会員 松本隆興

「黒澤英典先生の読書会」「絵手紙教室」「県内近隣の散策」等を実施しております。埼玉フェスタでは「絵手紙教室」が好評を博して居ります。会員

「未来と出会う」松本隆興 私たちは未来に向かって進んでいるのではない。未来が後から後から押し寄せて来て現在となり、足許をすり抜け過去となり、私たちはこの現在の連続の上で生きています。電車を降りた

「未来の会」にも入会した。この頃、体の異常に気が付いた。医師は私に言った。「脊髄を3箇所痛めています。この体では歩けるのは2年。読書か何か良い趣味ありますか？説明

「社会と産業」に再入学した。何時まで歩けるかは分らぬけど、心のバランスは人と人との関係です。学習センターに出てくると人の笑顔でほとほと学生、教職員の皆様の笑顔が何より嬉しいです。明日も未来に出会えるでしょう。

『ドイツ研修旅行 滞在記 後編』 飯田宗徳

2018年12月2日・ドイツ・バンベルク/ベルリン (滞在4日目)

雨の音で目が覚める。どうやら眠っていたようだ。昨夜は、演奏会を聞きに行ったものの、帰りのタクシーがまったく捕まらず、途方に暮れた。わずかに捕まった数台で19人をピストン輸送してもらい、全員がホテルに帰ったときは、すでに日付が変わっていた。



12月3日・ドイツ・ベルリン (滞在5日目)

午前中、森鴎外記念館に行く。ふと、ここが日本であると錯覚するほど、鴎外に関する日本語の書籍が所蔵されていた。その後ブランデンブルク門を観る。昼食後、自由行動となった。各々、ウンターデンリンデンでの買い物や、フンボルト大学の見学に向かった。

12月4日・ドイツ・ベルリン (滞在6日目)

午前中にベルガモン博物館へ、午後自然史博物館へ行く。展示物の数は多い。これほどの規模の博物館は、日本では少ないだろう。



展示物は、当時の君主が自身の力を誇示するために、制圧した地から収拾したものだろう。そして、君主に仕える科学者は、君主の興味・関心に沿うように、資料の分析・調査を進めたことだろう。競争的研究資金を獲得する昨今の職業科学者にも似た心境があるものと察した。



夜、オペラ『Hoffman物語』を観る。演出もよく練られており、楽しく時間を過ごすことが出来た。

12月5日・ドイツ・ベルリン (滞在7日目)

ポツダムへ向かう。今年は例年よりも温かいようだ。まだ紅葉が残っている。サンサーシ公園やチェイリエンホーフ宮殿を散策し、ポツダムでのピクニックを楽しんだ。



夜、マーラーの交響曲を聴く。立った状態で演奏するオーケストラの姿は鮮烈であったが、それ以上に、繊細な音を丁寧に表現していたことが印象に残っている。

12月6日・ドイツ・ベルリン (滞在8日目)

ベルリンの冷たい水で顔を洗う。この冷たさにも慣れてきたところだった。テューゲルからミュンヘンを経て、羽田に向かう。

紙面の都合で十分お伝えできなかったが、今回の研修旅行では、実に多くの学びがあった。たしかに、旅行会社が主催する旅行は、効率的に見たい景色を見ることができるだろう。まして、タクシーが来るかどうか不安になりながら、コンサートホールで待つこともないだろう。しかし、今回の学びは、きっと、これからの人生の糧となるだろう。

搭乗機は、そろそろ羽田空港への着陸態勢に入るようだ。帰国後の予定を確認しようと手帳を開くと、すでに幾つかの予定はあるものの、元号を含め、ほとんどの頁が空白だった。新しい時代は、まだその名前すら決まっていなかったと思うと、少しだけ嬉しくなった。

3月のサロン

- ★3月10日(日) 10時半〜13時 サロンはんもと 第2回 「ヒトの脳・人間の脳」 場所||第2講義室 講師||半本秀博 (放送大学埼玉学習センター客員教員)
- ★3月14日(木) 13時〜17時 サロンしごや ー映画とクラシックー 第12回 映画「天井桟敷の人々」 マルセル・カルネー監督 場所||第6講義室 講師||渋谷谷美
- ★3月16日(土) 13時〜15時 (放送大学埼玉学習センター所長) ター所長 絵画サロンしごや 第12回 「ドローイングとは何か。描くとはどういうことか」 場所||第5講義室 講師||小澤基弘 (放送大学埼玉学習センター客員教授)
- ★3月17日(日) 14時〜17時 ティータイム 科学座談会 場所||第6講義室 講師||永澤 明 (放送大学埼玉学習センター客員教授)

サークル案内

- ★2月24日(日) 埼玉学習SC・13時〜 「3月総会の準備作業」 ー来年度の活動計画策定、役員体制の検討等
- ★2月27日 第6講義室・10時〜 ドイツオペラ鑑賞会 「トリスタンとイゾルデ」
- ★3月6日・第6 茂木先生練習・役員会 器楽||10時〜 合唱||13時半
- ★3月27日・第1講義室 総会||13時〜、ボイス トレーニング||13時半
- ★3月31日(日) 「年次総会」
- ★3月27日 W・W・M

2019年度春 入学者の集い

2019年度第1学期の入学者の集いは、4月6日(土)14時から、埼玉学習センター8階講堂で開催されます。当日は、学習上の留意事項、学習センターの使用方法等の説明の後、学習相談や各サークルの紹介などが行われます。

俳句(つみ草)

兼題「寒明」  
寒明くと土面たたきのかれ鳥  
山肌のモルゲンロート冴返る  
雪霏々と桶につまるる苦積かな  
四万十川をはしる魚の背寒の明  
老犬や毛布となりて眠りこけ  
歟の柄に仕上げの櫻寒の明  
初孫の生まるる如し雪間草  
砂滑は片目に眠り目借時  
寒明るとモノリザの組む手かな  
春兆す顔真卿の筆の跡  
《見学歓迎 第2木曜日 午後1時より》  
功 光娥  
十詩 由美  
明美 厚子  
八重子 安代  
とく江

同窓会

★3月24日(日) 8階講堂・15時〜17時 「卒業・修了祝賀会」 ||埼玉同窓会主催・埼玉学習センター協賛  
\*参加費千円(参加希望者は10階事務室へ)  
\*連絡先||新井(090-8566-11423) シーノ大宮7階 「勉強会」

江戸時代の古文書を読む会

★3月22日(金) 「研修旅行」||群馬県立文書館  
★4月13日(土)・9階 「総会・勉強会」  
★4月21日(日) シーノ大宮7階 「勉強会」

健康体操研究会

★活動日||2月26日 3月12、19日・講堂  
26日・第6・10時半  
11時半||椅子体操、11時半〜12時半||総会  
★4月の活動日||

編集後記

ジェットコースターのように、気温が上下した2月でした。体調を崩した方も沢山いましたね。しかし、あちこちで梅の開花が見られるようになり、花粉に悩まされている方も多いでしょう。春は直ぐそこまで来ているようです。新年度もご協力をお願いします。(冬)

熟年会

★パソコンサラバ 2月26日(火)、3月19日(火) || AM自主学習 PM講義(パワーポイント)  
★3月12日(火) ||総会  
★3月27日(水)・第6水曜名画座||「エデンの東」 「八十日間世界一周」